

職業人に学ぶⅠ・Ⅱ 村松さんの講演を聴いて

1. 村松さんのお話を聴いて第1次産業(農林水産業)の魅力を考えてまとめよう。

村松さんが自分の好きな職についていることはすばらしいことだと思う。第1次産業の魅力は何と言っても自然とふれ合えることだ。自然とふれ合うことで人はいっときリラックスできると思う。自分も進路を考える中で第1次産業も悪くないと思う。

2. 職業人としての村松さんのお話を聴いて、自分に響いた言葉やこれからの自分の指針となるようなことを見出して考えをまとめよう。

村松さんは話の中で「仕事はお金(収入)がすべてではないとおっしゃった。自分もそう思う。確かに生活していくためにはお金も大切だが、お金だけを求めるのは悲しいと思う。自分はお金を求めるのではなく村松さんのように本当に好きな職につき満足感を得られるような職につきたいと思う。これからの進路を考えていく中で今日の話は本当に自分のためになった。そして、本当に好きな職につくためにはそれだけの努力が必要だ。高校生である自分は今のうちに勉強をきちんとし将来に役立てたい。そのためこのHCCで勉強の力をきちんと身につけておきたいと思う。これから夢に向かってがんばりたい。

職業人に学ぶⅠ・Ⅱ 村松さんの講演を聴いて

1. 村松さんのお話を聴いて第1次産業(農林水産業)の魅力を考えてまとめよう。

- ・ 自分達が養殖したり、とった魚を誰よりもしんせんでおいしく食べることができる。
- ・ 水平線からの日の出や日の入りに感動したりと他の人にはできない経験ができる。
- ・ 自然の近くにいれる！

2. 職業人としての村松さんのお話を聴いて、自分に響いた言葉やこれからの自分の指針となるようなことを見出して考えをまとめよう。

- ・ 村松さんの話を聞き一番おどろいたのは、村松さんが漁師にしかたなくなったところでした。そして、その「漁師」という仕事を続けているうちにその仕事のやりがいを見つけることができたというところがとても印象に残りました。
- 私には将来やりたい仕事があり、やりたい事以外の仕事はする意味がないと思っていました。しかし、長く続けることでやりがいを見つけられると聞き、将来やりたいと思っている一つの仕事にこだわらず、周りの人の話を聞いたり、職業をわらったりしていきたいと思いました。

職業人に学ぶⅠ・Ⅱ 村松さんの講演を聴いて

1. 村松さんのお話を聴いて第1次産業(農林水産業)の魅力を考えてまとめよう。

あまりお金にならない仕事ではあるが、例えば、漁業で、消費者の人が「おいしい」と言ってくれた時、この仕事をやっていて良かったと思っただけでいい。食べる人の「笑顔」が一番の魅力なのかなと思った。

2. 職業人としての村松さんのお話を聴いて、自分に響いた言葉やこれからの自分の指針となるようなことを見出して考えをまとめよう。

村松さんは漁業という職業になりたくてなったわけではなかった。でも、何年も続けていくうちに仕事に魅力を見つけたと言っていた。自分は結構やる前から投げたしがちで、「やってみないとわからない」という言葉を生きながらに証明している村松さんにあこがれというか、なにか不思議な魅力を感じた。自分たち高校生のほうが年齢的にはずっと若いのに、今を生き、とてもいきいきしている村松さんは、なんだかとても若く見えた。しかし、思うだけの力は変えられないと思うので、自分は行動したいと思います。それがどんなに正しい好ことでも、明日の自分につながっていることを信じて、頑張っていきたいと思いました。

職業人に学ぶⅠ・Ⅱ 村松さんの講演を聴いて

1. 村松さんのお話を聴いて第1次産業(農林水産業)の魅力を考えてまとめよう。

- 糸料をもらうよりも、お客さんに喜んでもらう、達成感があることがうれしいと思えること。
- 東京でいくらお金を出しても食べられないようなおいしい魚を毎日食べることができること。
- 自然の雄大さを体感できること。

2. 職業人としての村松さんのお話を聴いて、自分に響いた言葉やこれからの自分の指針となるようなことを見出して考えをまとめよう。

私は今まで、漁師という仕事は朝早くに海へ出て、魚をとってそのまま市場へ持っていくって売玉ということだと思っていました。しかし、今日のお話を聞いて考え方が変わりました。ただ魚をとって売るのではなく、小さい時から愛情をこめて育て、ワクチンを注射し、一度だけ殺して血を抜き、売玉というとても大変な仕事でした。魚をおいしく食べてもらいたいという気持ちと大切に育てた魚たちへの愛情がとて伝わってきました。そして、これらの魚たちは私たちのせいでも殺されて食べられているんだという事も改めて気づきました。だから私は仕事をする前に、今まで以上に気持ちをこめて「いただきます」と言わなければいけないなと思いました。あと、村松さんがおっしゃっていた「職業を選びすぎてはダメ」という言葉が心に残っています。好きな仕事ができなくても、その仕事で必ず魅力を見つけられるということがわかりました。私は今、自分はどんな職業につきたいかわからないのでよく考えたいです。そして、自分の仕事が一番素敵だと思えるようになってほしいです。

職業人に学ぶⅠ・Ⅱ 村松さんの講演を聴いて

1. 村松さんのお話を聴いて第1次産業(農林水産業)の魅力を考えてまとめよう。

自分たちが、心を込めて毎日一生懸命自分の子孫の為に育てた魚などを、お客さんにおいしく食べてもらったときの喜びや、東京などの都会にいくと、とても高い値段で売られている魚を、いつか安く食べられること。車やバイクの目の入りや目のまなこなど、とても自然を身近に感じられる幸せ。

2. 職業人としての村松さんのお話を聴いて、自分に響いた言葉やこれからの自分の指針となるようなことを見出して考えをまとめよう。

私は村松さんの話を聞いて、本当にお客さんに喜んでもらうために、ただ魚をとるだけでなく、加工して商品にしたり、料理教室をしたり、フケの栽培をするなど、とても苦勞して、たくさんのお金を取らなければならないと思いました。村松さんは、お金をもらうだけでなく、その仕事の面白さを見つけていくことが大切だと言っていました。そして、この大自然の中で仕事を頑張ることができることが、何より幸せだと言っていました。

私も村松さんのように、自分の職にやりがいや喜びを見つけ、最後までその仕事に誇りをもち続けたいという職につきたいと思いました。今はまだ基礎的な学校でいろいろなことを学ぶことができないけれど、村松さんは、それが大人になったら役に立つという話も聞きました。今は、学校での総学や勉強、生活などについてたくさん学ぶたいと思います。

職業人に学ぶⅠ・Ⅱ 村松さんの講演を聴いて

1. 村松さんのお話を聴いて第1次産業(農林水産業)の魅力を考えてまとめよう。

とてもおいしい魚をわざわざ高い金を払わずに地元でお
手頃に食べれること。

また自然の雄大さを体で感じることもなどができる
という点。

2. 職業人としての村松さんのお話を聴いて、自分に響いた言葉やこれからの自分の指針となるようなことを見出して考えをまとめよう。

その人の仕事に対する執着がとても感じられた。
始めのうちは嫌でなった漁師でも楽しいことなどを
発見できたらそれが生きがいになると思う。それに
これは漁師だけじゃなくて、どの仕事にもあてはまる
ことだと思う。村松さんも言っていたが100%の人が
自分のやりたい職業につける訳じゃない。だから僕も
仮に嫌な仕事や望んでいない仕事に就いてもそこか
ら多くのことを学んで、生きがいなどを探していきたい
です。今日はこのことについて学んだ。だから、
自分のやりたい職業が全てではないということが分かった
と思う。この講演を聞いて本当によかった。

僕も生きがいを探すことのできる職業に就きたい。

職業人に学ぶⅠ・Ⅱ 村松さんの講演を聴いて

1. 村松さんのお話を聴いて第1次産業(農林水産業)の魅力を考えてまとめよう。

- ・お客さんの笑顔や「おいし」とい言葉などの反応が直接聞けること。
- ・高級な魚を基本的にタダで食べられること。
- ・水平線より昇ってくる朝日などを生で見られる幸なこと。

2. 職業人としての村松さんのお話を聴いて、自分に響いた言葉やこれからの自分の指針となるようなことを見出して考えをまとめよう。

私は、今日の話をして聞いて、また将来のことでも分らずに勉強している人も多いと思うので、と書いての話を聞いてとても安心しました。人生における先輩が有りたっているんだから、と思えました。村松さんが「今身につけられるものは身につけておけ。」と書いて、黒田先生も同じことと書いてたので、今は大企業のことと吸収していきたいと思えます。

お客さんからお礼が来たと言ってくれることは給料が少ない仕事だけれども嬉しく思える村松さんは自分の仕事についての魅力も自分のして、職業人だなあと感じました。村松さんが自分のとった魚をどうやって大ウ人においしく食べてもらうか、どうやって魚の安全性を知ってもらうかなど一生懸命考え行動している姿はとてもカッコ良かったです。仕事に就くのはお金のためだけではないという意味が少し分ったような気がした時間と過ごせました。

職業人に学ぶⅠ・Ⅱ 村松さんの講演を聴いて

1. 村松さんのお話を聴いて第1次産業(農林水産業)の魅力を考えてまとめよう。

村松さんのお話を聴いて、漁業には、新鮮な魚介類を食
 べたいという思いが湧いてきたことや、水平線に沈む太陽
 は、自然の息、女性たちが身近に感じられたことが、
 漁業の魅力なんだと思いました。第1次産業は自然に恵まれることが
 女子たちが魅力なんだと思います。

2. 職業人としての村松さんのお話を聴いて、自分に響いた言葉やこれからの自分の指
 針となるようなことを見出して考えをまとめよう。

今回、村松さんのお話で自分に響いた言葉は、
 仕事はお金ではないところに魅力があるということだ。
 村松さんは最初、漁業はしたなかつたけども嫌だった
 けど、10年くらいすると漁業の魅力がわかってきて、
 お家では「おしい」と言っていたことに喜びを感じられる
 ようになったと言っていました。

私は、できれば自分がしたい仕事に就きたいけれど、
 私は就けなくて他の仕事に就いたとしても、その仕事に
 魅力を見つけられるように一生懸命頑張りたいと
 思います。私は仕事をしながら人事だと思いました。

私は村松さんはオーストラリアに行って英語が話せま
 困ったと言っていたけど、私は将来やりたいことで困ら
 ないように今身に付けられるものは身に付けて、
 将来に役立てられるようにしたいと思いました。

職業人に学ぶⅠ・Ⅱ 村松さんの講演を聴いて

1. 村松さんのお話を聴いて第1次産業(農林水産業)の魅力を考えてまとめよう。

おいしい魚が、いつても食われる。自然の恵みさがそばにあって、
高いお店とか、F1車だと思えること。

自分でつくったり、育てたりしたものがお客さんによることで
食べてもらえること

2. 職業人としての村松さんのお話を聴いて、自分に響いた言葉やこれからの自分の指針となるようなことを見出して考えをまとめよう。

今日のはなしをきいて、養殖業が大変なことがわかりました。

村松さんはワケチン接種というこもしていてすごいと思いました。

けど、それに対してはお客さんとかにあまりいい印象がなくて、
あまりかかってもらえなくて、むずかしいとも感じました。

加工食品では、お客さんに買ってもらう、食べてもらうきかいが
あまりないと思いました。でも、私はこんなのもある人だとなお
食べてみたいと思いました。

村松さんは漁業の仕事をしたくてしたわけじゃないと言っ
ていました。けど、今はそれを十年以上もつづけています。

お金とかじゃなくて、興味をみつけることが大変と言っていました。

私はあんまり長つづきする方がいいなと自分でも思っています。

けど、何年もしてたら、いつかいいと思えるときがくるときがある人
だとかわかりました。私はいろんなことにかんがわってみたいけど、
この話を心にためておきたいです。

職業人に学ぶⅠ・Ⅱ 村松さんの講演を聴いて

1. 村松さんのお話を聴いて第1次産業(農林水産業)の魅力を考えてまとめよう。

私は、水産業という職業は、自然に左右されるものだし、職業に就く人も少ないので、あまり良い印象は持ていませんでした。しかし、村松さんの講演を聴いて、本当——にか、この職業は魅力が大きいと思いました。

2. 職業人としての村松さんのお話を聴いて、自分に響いた言葉やこれからの自分の指針となるようなことを見出して考えをまとめよう。

私は元々、職業人が口にする「嬉しいのはお金よりも、客のうれしい一言」というセリフが、まんにこしと思えてならなかったのですが、村松さんの職業スタイル、こころいきを見て聴いて、そのセリフがとても格好よくてすごいものと思えるようになりました。

今、現代の社会では安心、安全が強く求められるようになっていきました。その中で、村松さんは、より安心、安全を消費者に理解してもらい、なおかつ自分の漁業に対する強い思いも伝えようとしているように思えました。その姿はどの職にも共通するものだと思われ、自分が将来社会人になったら、真似したいと思いました。

職業人に学ぶⅠ・Ⅱ 村松さんの講演を聴いて

1. 村松さんのお話を聴いて第1次産業(農林水産業)の魅力を考えてまとめよう。

和自身、魚が昔年であまりしほ(ほど)を食べたり
 ないので、漁師という職業は、漁師さん方の
 ことに興味が湧かなくて、私だけでなく多くの
 人のために、命かけて新鮮でおいしいものを届け
 ている姿がとても魅力的でした。

2. 職業人としての村松さんのお話を聴いて、自分に響いた言葉やこれからの自分の指
 針となるようなことを見出して考えをまとめよう。

職業に就くのは、そんなに簡単なことではなく、また
 自分がやりたいという道に進めたいこともある
 ということを知り、村松さんの姿は、とても尊敬
 できました。今、学べることを学ぶということ、そ
 して学んだことを身につけておけば、いざいざ役立
 つと村松さんがおっしゃったとき、高校はそれだけ
 人生において大事 なのだろうな、と思っ
 ました。また、村松さんが、やりたいと思っていな
 ければ、職業に就かなくても、一生懸命 消費者
 側のために、朝、昼、晩、頑張っていることを知って
 将来自分も、人のために自分の利益を気にせず
 に、役に立つことをしたいな、という気持ちで、
 自分、心の中でもっと強くなりたい、気がほっと、社会
 を目指すために、今後の生活から、おろそかでないこと
 身につけていきたいと思っております。

職業人に学ぶⅠ・Ⅱ 村松さんの講演を聴いて

1. 村松さんのお話を聴いて第1次産業(農林水産業)の魅力を考えてまとめよう。

消費者(魚を食べた人)からの「おいしい」という言葉。

できるだけ、鮮度がよくおいしく、安全な魚を人々に食べてもらうよう、追究すること。

2. 職業人としての村松さんのお話を聴いて、自分に響いた言葉やこれからの自分の指針となるようなことを見出して考えをまとめよう。

村松さんは、初め自ら望んで漁師になったわけではないといっていました。しかし、何年か続けてみるうちに少しずつ漁業の魅力がわかりだしたといっていました。このことを聞き、今までは職業選択が、職につくために一番重要だと思っていました。しかし、今回の話を聞き、もちろん職業選択も重要だけど、それと同じくらい「続けること」が大事だということがわかりました。

また、自分の職業の魅力がわかると、自分の仕事に対する敬ができてきているのがわかりました。消費者にもっとおいしい魚を食べしてほしいと魚についてよく知ってほしい。そのような気持ちはずっと伝わってきました。今、いろいろな手段を使いたくさんの情報をとり入れることができます。これを使って、生産者の人から発信される情報を消費者である私達が積極的に

1年()組()番()

受けとろうとする意志が必要だと思いました。

職業人に学ぶ I・II 村松さんの講演を聴いて

1. 村松さんのお話を聴いて第1次産業(農林水産業)の魅力を考えてまとめよう。

私達、消費若のために大変な農業の仕事をし、魚に
 いて矢のもらっておいしい食べさせてもらえること。

自然の素晴らしさをかんじることが出来ること。

2. 職業人としての村松さんのお話を聴いて、自分に響いた言葉やこれからの自分の指
 針となるようなことを見出して考えをまとめよう。

仕事はお金のためだけにするのではないという言葉が心に
 響きました。どんなきかけでも、その職業について、やり
 き通ることが大切だと思いました。村松さんの話を聞いて
 本当にこの仕事が好きで、やりがいを感じていけるなあ
 と思いました。村松さんの息子さんやそのお友達さんにも
 の気持ちがいやちていながら、お魚なんかにごちそう
 に仕事に一生懸命にやれるんだなあと思いました。

私もまごごのような仕事について、どんな生活を送るか自分
 からいけど、どんなきかけでも、自分の仕事に責任を
 持つて、人のためにがんばる村松さんのような人
 になりたいです! 口かえり直送活き鮮魚船団
 実際に活き船団を本当に仕事が好きで、消費若のこ
 を考えてくれるなと思いました。自分のためだけに
 なく人のために熱心に仕事にうちこむことが出来るのは
 すごいと思いました!

職業人に学ぶⅠ・Ⅱ 村松さんの講演を聴いて

1. 村松さんのお話を聴いて第1次産業(農林水産業)の魅力を考えてまとめよう。

- 魚を本当のおいしさに食べれる
- 自分が育てていくことにより、食べ物への感謝の気持ちがいりやすくなる
- 魚をおいしく食べれる
- 漁業・養殖業から加工商品までいろいろの経験ができる

2. 職業人としての村松さんのお話を聴いて、自分に響いた言葉やこれからの自分の指針となるようなことを見出して考えをまとめよう。

自分が普段食べている魚を育てていくことってのはとても大変なことだ、実際にこんな仕事があると知ってびっくりしました。特におどろいたのが魚一匹いびきでフタを開けると、とても手間のかかる作業が多いということです。そのフタを開けて安全ではない...と思っている消費者の方がいるそうですが、村松さんのお話を聞いて、そんなことはないことがわかったし、そういう誤解がなくなるといいと思います。また魚のふんや尿などがでるりなどを減らすために、わかめを育て、それを活用しているというのがすごいなと思いました。村松さんが「今では幸せだ」とおっしゃることも、幸せはお金じゃない、という言葉や「本当に仕事のことかあがるのは2-3年じゃない。10年ぐらいじゃない」という言葉が心に残っています。村松さんみたいに自分の仕事をとてん(ホーム・ジョブ)みたいに写真の世安全だ!!と証明したり、加工工場や、授業など)できるのはすごくカッコイイと思います。

1年()組()番()

職業人に学ぶⅠ・Ⅱ 村松さんの講演を聴いて

1. 村松さんのお話を聴いて第1次産業(農林水産業)の魅力を考えてまとめよう。

村松さんは自分の魅力を東京でいくら高いお金をだしても、食べられないくらい新鮮なお魚を釣らず、船の上で食べられて、また、朝日を夕日が見えて、自然のゆづだいはを感じる事だとおっしゃてました。

2. 職業人としての村松さんのお話を聴いて、自分に響いた言葉やこれからの自分の指針となるようなことを見出して考えをまとめよう。

私が、一番心に響いた言葉は、今いる社会人のうち半分以上の人は、みんな自分の好きな仕事についているわけはないという言葉でした。

私は、今日の講演を聞かせて、社会人は、みんな自分の好きな職につけて、毎日、自分の好きな事ができてイカーって思っていました。

でも、今日の講演を、半分以上の人が自分の好きな職につけないと聞き、ビックリしました。

けれど、村松さんの話によると、自分の好きな職でなくても、五十年くらいすると、その仕事の楽しさかかってくる、とてもやりがいのある職だと思えると言っていて、そんな人だと思いました。

メッセージとして、今や、ている事を、しっかり身につけておいた方が、後々、役に立つと聞いたのが、私は、今とて、好きな事を、しっかり身につけて将来に役立てたいと思います。

職業人に学ぶⅠ・Ⅱ 村松さんの講演を聴いて

1. 村松さんのお話を聴いて第1次産業(農林水産業)の魅力を考えてまとめよう。

「いつでもおいしい魚が食べられて、美しい自然の風景を見ることができました。あと、魚を買ってもらうために『村中においしかった』と言われることだ」と思いました。

2. 職業人としての村松さんのお話を聴いて、自分に響いた言葉やこれからの自分の指針となるようなことを見出して考えをまとめよう。

「今していることは、社会に出たとき、おおかた役に立ちます。『今できることは、今やったほうがいい』という言葉は、社会に出ている人がよく言っています。本当なんだと思うました。その言葉を胸に刻んで、自分も今できることをがんばっていました。養殖は、ただ「魚にエサをやっただけだ」と思っていたのですが、意外に大変なんだと、鉦の説明を聴いて思いました。村松さんは、どうして、今の仕事をがんばっているのかと考えると、その仕事についての魅力を見出したからではないでしょうかと思いました。私も将来つた職、魅力が分かるようになるまで、がんばりたいと思いました。